



The service club to the YMCA
THE Y'S MEN'S CLUB OF
TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
 〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23
 西宮 YMCA 内
 Tel (0798)35-5987

HP QR コード



例会 QR コード



“ TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988
宝塚ワイズメンズクラブ 2024年11月会報 第431号

主 題 ・ 標 語

国際会長(I P) A Shanavaskhan (A・シャナヴァスカーン) (インド)

主 題 “Together for a better World” 「より良い世界の為に、共に」

スローガン “Arise and Shine” 「立ち上がろ、そして輝こう」

アジア太平洋地域会長(AP) Joan Wong(ジヨウン・ウォン)(香港)

主 題 “Make a Great Impact “ 「大きなインパクトを起こそう」

スローガン “Be Bold and Serve by Faith “ 「大胆に、信念をもって奉仕しよう」

西日本区理事(RD) 鶴丹谷 剛 (神戸)

主 題 つなげよう地域と世界、YMCA と共に

スローガン 楽しもうフェロウシップをポジティブに

六甲部長 小野勅紘 (西宮)

主 題 一人は万人のために、万人は一人の為に

スローガン Y (YMCA) ・ Y (ユース) ・ W (ウイン) ・ W (ウイン) の関係で互いに支援しましょう！

宝塚クラブ会長 長尾 亘

主 題 楽しい例会があって、YMCA・地域活動を大切に！

西日本区 11 月強調テーマ : BF (Building Fellowship)
 BF の目的、運用への理解を深め、実感を持ちながら献金
 しましょう。 国際・交流主任 山田滋己(神戸ポート)
 *2022 年 5 月の国際議会において、これまでの Brotherhood
 Fund から Building Fellowship に名称が変更された。

2024年 11 月 例会

日 時 : 2024年 11 月 13 日(水)18時30分

場 所 : 宝塚市西公民館ホール

会 費 : 1,500 円

ドライバー 郡家 学 ・ 岡野泰和

開会点鐘 長尾 亘 会長

ワイズソング 全 員

聖書朗読・祈祷 青柳美知子

ゲスト・ビジター紹介 長尾 亘 会長

会 食

卓 話 「チェンマイでの活動」 (Zoom 参加)

タイ・チェンマイクラブ 西村隆夫ワイズ

委員会報告

YMCA報告

誕生日のお祝い 長尾 亘 会長

ニコニコファンド

閉会点鐘 長尾 亘 会長

(Zoom 視聴は右上の例会 QR コードをスキャン。)

2024~2025 役員	会 長 長尾 亘
	副会長 多胡葉子 福田宏子
11 月 誕生祝い	書 記 若林成幸
	会 計 小林康男 郡家 学
	会計監査 石田由美子 風早寿郎
	担当主事 橋本 唯
	メネット連絡 小林貴美子
	直前会長 石田由美子
	11 重松えみり 26 多胡 進
10 月 実 績	会員在籍数(A) 16 名 例会出席総数(B) 17 名 (内ズーム 2 名) (内訳) 会員(C) 11 名 メネット・アソシエト 4 名(内ズーム2名) ゲスト・ビジター 2 名 メイクアップ(内数D) 0 名 会員出席率 C+D/A 69 % 例会充足率 B/A 106 %
	にこにこ献金・ファンド実績 ニコニコ 3,000 円 (累計 13,000 円) ファンド タカラムネ 2,000 (累計 16,100 円) 真菰茶 3,250 (累計 4,300 円) その他 7,000 (累計 14,500 円) 合 計 12,250 (累計 22,650 円)

今月の聖書

「神がわたしどもの罪を暴^{あば}かれたのです」。

旧約聖書・創世記44章16節

随想

大干ばつの中、エジプトが大量に穀物を貯蔵していると聞いた父ヤコブ。息子たちに行かせ、穀物を購入して帰途に着くことになりました。この時、宰相となっていたヨセフが自分の銀の杯をいちばん年下のベニヤミンの袋の中に入れておくよう執事に命じました。

翌朝です。出立した後をヨセフの執事が追いかけて、ヨセフが宗教的にも用いる大事な銀の杯を盗んだ奴がこの中にいると嫌疑をかけ、めいめいの袋を調べさせ、ベニヤミンの袋の中からそれが見つかったので、彼らは絶望のうちにエジプトへ引き返しました。

帰って来た 11 人を前に、ヨセフは、銀の杯を袋に隠し持っていたベニヤミンだけが奴隷になり、他の者は家に帰るように命じます。

この時でした。兄のユダが独り言のように言ったのです。「神が僕どもの罪を暴かれたのです」(16 節)。身の潔白を主張できるはずなのに、なぜ、こう言ったのか。

過去の罪が清算されていないと、身の潔白を主張できません。「もしかしたら、あの時のバチが当たったのか?」。神が兄たちを後ろから執拗に追いかけて、肉薄し、とうとう後ろから捕まえてユダに耳打ちしました。

「おい、ヨセフをエジプトに売った件は、どうなった!?!」。

「ベニヤミンだけを残して家に帰れ」とヨセフが言ったのは、あの時の状況を再現したかったからでした。かつて、数十年前、ヨセフを見捨てたように、10 人の兄たちはまたベニヤミンを見捨てるのか。

「分かりました。それではベニヤミン、この偉い人の言うとおりにしよう。もう仕方がないではないか。ここで別れよう。父にはうまいことしておくようにするよ。元気でな、さようなら」と言えるのです。

さあ、兄たちはどう答えるか。ヨセフは息をするのも忘れて兄の答えを待ちます。

これが、兄たちに対するヨセフの挑戦でした。そして、神からの挑戦でもありました。過去から逃げるのか。それとも、ここで生まれ変わるのか。一刻の猶予もない二者択一が 10 人の兄たちに鋭く突きつけられました。

どうする!?!

宝塚教会 牧師 浦上結慈

10月第1例会報告

10月第1例会が10月9日(水)18時30分から宝塚市立西公民館ホールにて開催された。ワイズ11名、メネット2名、アソシエイト2名、ゲスト2名 計17名(内 Zoom2名)が出席した。まず、長尾会長の開会点鐘に続いて「いざ立て」を斉唱し、「今月の聖書」(今月初登場の甲東教会 新堀真之牧師)を読み「フランシスコの平和の祈り」を捧げた。その後、シメジと栗の混ぜご飯弁当で秋の風味を味わいつつ懇談の時を楽しみ、卓話へと進んだ。



卓話は、関西学院大学時代、石田ワイズの指導を受けたフラチーム“MAHALO”の初代リーダーであった中野祥子さん。演題は「“生きがい”が溢れる社会の実現を目指す挑戦の軌跡」といかめしいが、「自分の強み・弱み分析」に始まり、学生生活～就職～転職～結婚～新事業の起業へと続く。人生の最も変化に悩み苦しむときにもかかわらず、あれよあれよという間に人生が開けてゆく。その語り口は自信と情熱にあふれ創造的、振り返りの早さ・手際よさに驚きを禁じ得ない。そして成功体験をもとに理想に向かって前進する姿勢に、何という若者なんだろう、先が楽しみ！と感心しきりの1時間であった。

スクリーンに映されたキーワードから彼女が懸命に歩んできた挑戦の姿を振り返ってみた。

- 大学生活でフラを・留学しての学びから⇒「自身が挑戦することで想いの種が周りの方に伝わり仲間ができ、現実になってゆく」⇒「挑戦を通じて可能性を広げる面白さ」。
- 2度の転職を経て学んだこと⇒「人の可能性は、自身の叶えたい未来と強みを発揮できる環境に出会えることで最大発揮できる」⇒「人材紹介活動を通し個々の可能性の最大化を」。
- コロナ禍、出産を経て、「人生を思いっきり楽しんでいる背中を子供に見せたい」⇒「自身の可能性を信じて、一歩ずつ」。
- 遂に、自身に課せられたミッション「人の可能性を最大化し、生きがい溢れる社会の実現」に気づく⇒2020年新会社を創業、人材業界・学校向けの戦略～人材育成支援・キャリア相談室～を展開。

その後に数名の方から、人生訓めいたアドバイスや若人への羨望らしき発言があり、会場はいつになく賑やかになった。そしてお誕生日を祝い、諸報告の後、長尾会長の点鐘で閉会となった。

若林成幸

プロフィール

タイ、チェンマイクラブ 西村隆夫さん(タイから Zoom)
宝塚ボーイスカウト育ち、大阪センテニアル、チャーターメンバー。
東京転勤で東京クラブはじめいくつかに展開、チャーター。
2010年横浜国際大会後に国際書記長としてジュネーブ本部勤務。
2016年、チェンマイサテライト事務所へ。
2019年任期満了後、チェンマイクラブで継続して YMCA に奉仕を継続。



10月第2例会議事要旨

10月第2例会は、10月16日(水)18時30分から開催した。

出席者は、長尾会長、石田、小林、武田、多胡、若林各ワイズ 計6名。議事要旨は次の通り。

1、今後の例会に関して次の通り確認した。

- ・11月例会(タイチェンマイクラブ、西村隆夫ワイズ・Zoom参加)
- ・12月例会大阪土佐堀クラブ合同クリスマス例会(詳細は別に)
- ・1月例会 坂内定比古氏(あとりえ・こでまり主宰)「アンティーク・オルゴールの響き」(仮題)
2月はオープン例会・前回テーマの続編という方向で講師に意向打診してもらったが賛意を得られず、また、オープン例会の趣旨・テーマ・対象等を吟味する必要があるとの意見が出され、再検討することになった。
そのため2月は通常の例会に変更する。新たな講師は次月に検討する。
- ・3月例会は、稲村俊昭氏(京都美術工芸大学 建築学科特任教授)「西谷の森づくり(仮題)」。

2、各部会の報告

- ・11月2日六甲部会登録確認 8名(長尾会長、武田・石田・多胡・福田・若林・石原・金岡)
市民クリスマスのアピールと協力募金をお願いする
- ・11月9日 瀬戸山陰部会登録 2名(長尾会長・石田)
- ・西日本区大会ファンド日本手ぬぐいを販売@1000円、六甲部会の財政に協力をお願いします。

3、ジャガイモファンドの状況

10/12 ジャガイモ 193箱、三種混合 157箱 計 350個が入荷し、ワイズ及び親しい友人等 12~3名が集まり荷降ろし作業を行った。その後順調に配達が進み、10/19で完売の見込み。宅急便の送料が値上がりしたが、今回は昨年度並みの運賃で引き受けてもらうことになった。ご協力に感謝。

4、チャリティーランの件 11月4日(祭日・月)

- ・当日参加者 6名(長尾会長・多胡・福田・若林・青柳・金岡)、また以下の準備会に有志の参加を募る。
- ・富田宇宙氏(全国チャリ・ラン実行委員長)の来場、歓迎会でタカラムネのレイをプレゼントする。
レイの製作・一般販売用タカラムネの包装作業と仮装行列の準備作業会を10/30(水)13時から西公民館で行う。段ボールでXmasツリー・トナカイを工作の予定。

5、市民クリスマスの役割分担

- ・市民クリスマス委員長から提出の役割分担(案)をもとに協議し別紙のように纏めた。
各自の都合に合わせて万障繰り合わせての協力をお願いします。

6、ブリテン

編集案を基に寄稿分担等を協議。会員・メネット・アソシエイトの随想を適宜掲載する。

9、その他

会長から次期会長候補の選任に関し提案があった。暫しの協議があり11月第2例会で再協議することになった。

(書記 若林成幸)

ジャガイモ・ファンド協力に感謝



この度はジャガイモ販売にご協力いただきありがとうございました。お陰様で次の通り、収益目標25万円を上回る収益を上げることができました。

なお、商品代及び宅急便運賃の支払いをよろしくお願いたします。
(現金または振込)

ジャガイモ・ファンド委員 小林康男・郡家 学



売上	ジャガイモ	193 箱	501,800 円	自立の家は@100 引き 別途宅急便運賃 47,579 円 振込先
	三種混合	157 箱	533,800	
	計	350 箱	1,031,900	
仕入	ジャガイモ		229,284	三菱UFJ銀行 宝塚中山支店 普通預金 4585836 宝塚ワイズメンズクラブ
	三種混合		305,208	
	運賃		224,000	
	計		758,408	
収支差額			273,408	

「第3回すべての人の 作品展ふらす」を終えて

壁がなければ実行委員会 山田早弓

『どなたでもが、ご自身の心地良い距離感で、お好きな時に、与え与えられ共に在れる場づくり』を目指して3年目。無審査。無賞。無料。対象不問の自由出品公募展は、去る10月14日に約1週間の会期を、皆様のご厚意を賜り、無事に終えさせて戴くことが出来ました。関連行事も含めた事業参加者総数は500名を超えました。

作品展示に関しては、出品者お一人お一人の表現する喜びが溢れ、「会場に温かい空気が流れている」と総じて大好評でしたが、何人かおられた批判的な様子の方に感想を尋ねると「美術館の展示などに比べると雑多で美しくなくレベルが低い」というような意見でした。体裁しか観れず心を汲み取れない感受性の乏しい方だなと思う反面、そのような方にも心を開いてもらう為に、キャプション印刷など専門業者にボランティア団体が費用面も含めて依頼出来るシステムがあれば良いなと思いました。



部会参加報告

九州部部会

長尾 亘

2024年10月5日(日)熊本であった第43回九州部部会に参加しました。熊本らしい地元の和太鼓の歓迎を受けました。宝塚クラブから一人の参加でした。しかし、懇親会もDBCの鹿児島クラブと同じテーブルにして頂き、楽しく参加する事が出来ました。そして、部会の後、鹿児島クラブの皆さんは日帰りでJR熊本駅前で鹿児島クラブの計らいでDBC交流会を持ちました。そして私の、向かいの席に数時間前に部会で開会の挨拶された大崎隆義九州部部長(熊本むさし)が座って居られたのに驚きました。しっかり宝塚クラブのアピールが出来ました。



中西部部会

多胡葉子

10月26日に第28回中西部部会がホテルクライトン新大阪で開催された。宝塚クラブからは若林ワイズ、石田ワイズ、多胡の3人が参加。参加者は東は北海道、西は九州からも総勢90人の参加、プログラムは3部に分かれて実施。司会は清水論ワイズ、丹吾礼ワイズ。第一部はバナーセレモニーから始まり、中西部湯浅 禎也部長の開会点鐘、大阪YMCA小川健一郎総主事、西日本区 鶴丹谷剛理事の挨拶、そして中西部クラブ会長、キャビネットの紹介と続いた。それぞれの短いスピーチはとても個性豊かで、場が和む楽しい交流の始まりだった。

第二部はゲストスピーチタイム。「天災か、人災か」と題してサンシャインホーム一級建築士事務所の山下邦義氏、「YMCAA級被災地支援」と題して大阪YMCA主事の山根一毅氏。お二人のゲスト共に災害時の命の大切さを建築家から、またYMCAからのボランティアとして派遣された立場の視点から熱く語られた。

第三部は食事を囲み、テーブルごとの楽しい団欒、交流とワイズならではの楽しさが発揮できるタイム。その合間に大阪YMCAのミャンマー、タイなどからの留学生の紹介があり、留学生たちが支援している母国の子どもたちのためのファンドとしてそれぞれの国の手作りのお菓子の販売。彼女たちが各テーブルをまわってワイズのメンバーたちの温かい協力のもと完売。恒例のアピールタイムには25年度の熊本でのアジア大会をはじめ神戸での西日本区大会、そして周年事業を予定されているクラブや、合同新年会のアピールなど盛りだくさんのアピールのために次々と関係者が壇上に上がり、大いに盛り上がったひととき。宝塚クラブは12月7日のOne Christmasをアピールした。

あっという間に第3部も終わりの時を迎え、実行委員長の谷正一ワイズの閉会挨拶、次期中西部長の掛谷太郎ワイズによる閉会点鐘で解散となった。



第 28 回西日本区大会(神戸) 第 10 回実行委員会報告

10 月 28 日(月)夕刻、神戸 YMCA にて第 10 回実行委員会が行われ 18 名が出席した。今回は宿題となっていた小委員会ごとの実施事項とそれに要する費用を確認・総合し固定的な経費を見積もった上で、大会の参加人数と大会登録費を幾らに設定するかということが注目点であった。費用に関しては概して節約志向が強く、細部についていつになく熱を帯びた応酬があったが、最終的に「参加人員 550 人・登録費 21,000 円・収支ほぼ均等」とすることを了承した。西日本区大会に各地から多くのワイズを集めるには神戸という地理的な魅力・大会運営の妙味に加え、各地の部会に出かけて行ってアピールや勧誘というキャラバン活動が決め手となってくるが、その経費(交通費・大会参加費)は個人負担とし補助金は含まないとした緊縮予算となった。実行委員会としては 600 人以上の集客を目指し幾ばくかの収益を確保したいと願う方が多数だと思う。

このほかプログラム委員会は「募集！ワイズ・音楽グループ」の提案を行った。大会プログラムは「開会セレモニー・西日本区アワー・ディナーパーティー」がメイン。単日開催のため、ゲストによる特別講話やイベント風の出し物に費やす余裕はなくなってしまった。そこでプログラム委員会が打ち出したのは、西日本区アワー終了後からディナーパーティー開演までの自由時間をつかって「ワイズ音楽グループ」によるロビーコンサートを実施すること。各部やクラブには幾つかの音楽グループがあるが、それを大会に招き、新たな交流の場をつくるという発想である。議論の中で「地酒試飲会」という声もでたが、ぜひ実現してもらいたい。大会にワクワク感や潤いを演出したいものだ。

また、開会に先立つバナーセレモニーの入場時に「ご当地ソング」の行進曲、開会式でのワイズソング、追悼セレモニーでの BGM 等にピアノ独奏者として大久保有記氏(福田宏子ワイズの教え子)を起用することを報告した。神戸大会運営のユニークな取り組みを多くのワイズとともに楽しみたい。

若林成幸

YMCA 報告

10/26(土)西宮こどもカーニバルが行われました。西宮 YMCA につながる子どもやその保護者、427 名の方々にご参加いただきました。

天候にも大変恵まれ、笑顔あふれる豊かな時間となりました。

収益金は、YMCA 国際協力募金に捧げます。

添付の写真は、西宮 YMCA 保育園、西宮つとがわ YMCA 保育園、香櫨園育成センター、浜脇育成センター、用海育成センター、発達支援事業(まめの木、サポート)、香櫨園小学校放課後キッズの先生方そろい踏みでの、園庭で一堂に会してのお楽しみタイムの一コマです。



20 回 市民クリスマス役割分担表

12 月 7 日(土)開催の One Christmas in Sorio にご協力をお願いします。

前日・当日の役割分担(案)により不都合があればお申し出ください。

役割/集合時間		担当者
全般管理		統括：若林（指揮）・多胡 ステマネ：清水 連絡：若林弘子 MC：石田、
会計		小林・小林貴美子
控室・楽屋通路		控室は男女別大部屋 楽屋通路をパーテーションで区切る
特別ゲスト世話		若林弘子
フ ロ ン ト	プレゼント	福田、矢部、眞藤、石原、 武田・青柳・丸茂、 風早 (六甲部より応援) 中道、大野智恵
	当日券・受付	
	募金	
	指定席番号貼付け (12/6 午後、作業)	
	誘導・案内	
舞 台 関 係	司会・合唱団	石田・多胡・小林・小林貴・ 水谷・吉田由・丹吾礼・若林
	朗読・PC 操作	朗読：加悦、PC：橋本
	舞台エキストラ	岡野・郡家・風早
	舞台上の移設	合唱団の男性
Zoom 配信 動画撮影		配信はなし、別途 CD 作成 ポップン藤原さん
キラリ…アート展		多胡、郡家、長尾、風早、山田 前日 15 時搬入・展示 当日 16:30 撤収
ワイズ交流会		長尾・石田 開会 17:00 場所：がんこ宝塚苑

10/18 NGO 連絡協議会報告

議事録(ワイズ関係) 抜粋

- (1) ロビーショーケース⇒12 月～2 月は
Ys の展示を行う
- (2) たからの市出店⇒Ys は毎年 5 月の出店
- (3) NGO 展開催計画
時期 2025 年 3 月 8 日(土)、9 日(日)
7 日(金)は準備

要領

①NGO 団体活動発表

今回はギャラリー展示場で行う。

開始 11 時頃、@10 分程度。

市民クリスマスにお出での方には入
場整理券(指定席・無料)を発行しま
す。スマホで QR コードを読み取り、氏
名・来場者数等を記入してメールして
下さい。



第20回
みんなで作る市民クリスマス

One Christmas

2024年12月7日(土)
午後2時 開演
宝塚ソリオ・ホール

プログラム
ハレルヤ・コーラス(飛び入り参加歓迎)
みんなでクリスマスをおおう
朗読と音楽でつづるクリスマス物語
楽しい歌のプレゼント

出演
宝塚厚生幼稚園の園児・保護者
ポップンリingers
関西学院大学フラスカー(マハロ)
アンサンブル「ダカーボ」
2024市民クリスマス合唱団

特別出演 真蔵 謙 元・宝塚歌劇団

入場整理券(無料・指定席)お求め下さい
石塚ビル 090-3008-0001
多胡 090-3015-9005
QRコードをスマホで読み取り
入場整理券のWEB予約が可能です。

主催 宝塚ワイズクラブ
後援 神戸YMCA・宝塚市・宝塚市教育委員会・宝塚市文化財団・宝塚市国際交流協会
宝塚市社会福祉協議会・関西学院大学宝塚支部・ワイズクラブ国際協会西日本区 六甲部
協力 日本キリスト教団 宝塚教会・甲東教会・宝塚厚生幼稚園